青森市町会連合会発行
# 事務局だより
33号
54.1.

祝

53.11.24 於ホテル青森

県褒賞授賞

◉坂本松三郎（当会々長）地域住民の連帯感高揚の功労者として。

◉岩渕徳一（沖館四町会長）統計事業の功労者として。

○新町会誕生

佃国鉄町会、世帯数一〇〇、組数十一
町会長 鈴木政人
住所 松森字佃 三二

これで計322町会となる

○交通安全パレード地区で実施（12/9）

第二十三地区町会長協議会（岩谷貞作会長）では、区内の諸団体に呼びかけ、パレード実施。佃小の鼓笛隊を先頭に六百名の参加を得、盛況裡に終了。

○ひる行燈（あんどん）を消そう

最近、国道筋、県道筋に高ワットの街灯が設置されているところを見受けるが、すぐ傍に町会の低ワットの街灯が、しょんぼりしている。これでは効果しないので、一度検分して、解消するか、他へ移動してはいかがでしょう。

## 研修会での声 その一

◉町会の総会などに人を集めるよい方法ないか。

△私の町会は、二十六棟のアパートで若い人が多い。集会には有線放送を利用している。スポーツを通してコミュニケーションをはかり、人が集るようになった（唐橋）

△毎月第一土曜（6:30～7:00）月例集会日として、町内一巡し防犯灯の点検と情報交換をする。一人五百円の日当出す。但し個人宛でなく町会として使用。これが定着して人が集るようになった。（造道）

△私の町会では、集会時十分前、手別けして出席をすゝめる。全員出席する。（御園町）

△人をあつめるには、第一に親睦をはかることが必要である。運動会には七〇才以上の方を招待する。毎月1日、15日の早朝清掃には三十三名出席する（切島）

△うちでは、三ヶ月に一回、会報を出している。それには、出席者の氏名を発表する。必ず誰かをほめることが大切（浜道）

◉婦人部の事業について、講師謝金材料費慈出、会場等、どうしているか伺いたい。（県営千刈台）

△公民館利用を考えてはどうか、無料である。（会長）

△講師（は三〇〇〇円と車代あげている。町会から年額二万円外に、広報あおもり配布の手数料、ポリ袋斡旋の手数料で間にあわせている。（滝内）

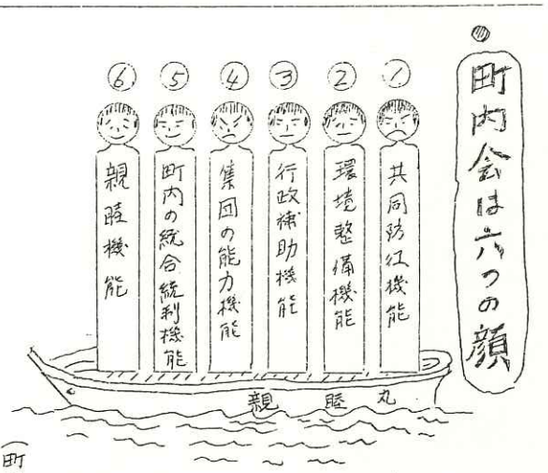
講習会の出席者は種目にもよるが毎回四十五名位

以上町会には六つの顔があるが、それぞれの事情があるのでできる範囲でできるだけやることになろう。例えば子ども会つくることによって、親がついてくる。そこに子ども同志、親同志の会話親睦が始まる。町内の運動会後今迄接拶もしなかった町内の人々の間にコミュニケーションが始まる。創立三十周年記念運動会をやったら町民の空気が一変したという町会もある。新設町会長から相談うけると、私は面倒な理屈をいわず、町会は親睦団体だと単的に答えることにしている。ただし何もしないでは親睦も生れない。回覧板まわすだけでなく行事をやることによって親睦もなれ親睦の空気は行事を進展させ円滑な運営も期待できる。

たゞ、右記の共同防犯機能について、例えば、最近付近に痴漢が出没する。～防犯灯をふやそう～放火魔が出た。～自警団つくろう。～空巣ねらいが多い～防犯教室をひらこう。街頭放送で注意を呼びかけよう。等、町会としては予防が主で、犯人捜査、逮捕（現行犯以外）は警察の仕事である。特に破防法関係を取扱う公安当局の過激派など思想関係の犯人捜査などは町内会の埒外である。うっかりすれば、人権侵害、住民不安、から世帯調査用紙と提出する者もなくなり親睦の絆も断ち切られるというものである。現在でも世帯調査用紙の提出をしぶる人がかなりある筈である。（この稿その筋の先輩の意見を参照）

この辺の判断を誤ると、一町会だけでなく、全町会のあり方を問われることになる。お互い慎重を期したいものである。

◉町内会は六つの顔




親睦は町内会の生命。親睦丸に水漏れあれば、すべての機能も沈没する。

既に29号に記載済だがわかり易く図解したもの。

（町内会自治会の理論と実務）

## 弔

故吉畑団地西町会長千葉真一殿（十月三十日）五〇歳
故戸山町会長　田中藤吉殿（十月三十八日）六五歳

◉ひとりふたり西への旅は師走風　合掌

事務局近影

一九七九年もよろしくお願い申し上げます。